

当院の皮膚科診療の特徴について

皮膚科 副医長 谷川 絢乃



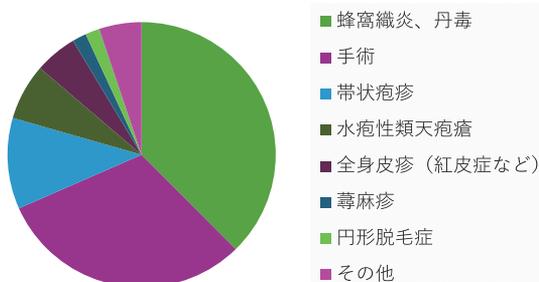
今回は当院の皮膚科診療についてご紹介させていただきます。

当科は医師3名（女性1名、男性2名）が在籍しており、午前は毎日2診体制で外来診察を行っています。午後は、「月・水・金曜日」は皮膚生検や処置、アレルギー検査などを主に行う専門外来、「火・木曜日」は手術をしています。

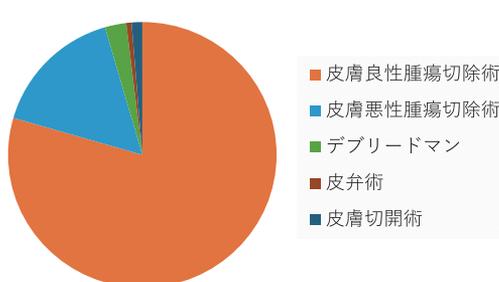
入院は、下記グラフのように手術目的以外では蜂窩織炎や帯状疱疹、水疱性類天疱瘡の症例が多い傾向ですが、アトピー性皮膚炎の急性増悪や紅皮症の精査、円形脱毛症に対するステロイドパルス療法なども行っています。

手術は、下記グラフのように皮膚良性腫瘍切除術、皮膚悪性腫瘍切除術を主に行っていますが、植皮術、皮弁術など、局所麻酔だけでなく全身麻酔での手術も対応可能です。

入院内訳（2024年度）



手術内訳（2024年度）



●所有機器

紫外線治療器は、デルマレイ400（写真1）、デルマレイ200（写真2）、エキシマライトを有しており、アトピー性皮膚炎や乾癬、尋常性白斑、円形脱毛症などのナローバンド UVB 療法に使用しています。また、デルマレイ200を使用して内服 PUVA、外用 PUVA も可能です。

エコーは主に皮下腫瘍を外来で迅速に診断できるように以前から導入しておりますが、今年度に新しい機器（Venue Fit R5：写真3）を導入しましたので、より正確に診断できるようになりました。

その他、掌蹠多汗症治療のイオンフォレーシス、脂漏性角化症など隆起性病変の治療に使用するCO2レーザーもあります。



写真1



写真2



写真3

●自費診療

巻き爪治療を積極的に行っています。保険診療で行うフェノール法以外に、自費診療で巻き爪マイスター、ドクターショール、ワイヤー法も行っています。

その他、男性型脱毛症のデュタステリド、多汗症の塩化アルミニウム（院内製剤）も処方可能です。

●皮膚科フットケア外来

当院のフットケア外来は、内科フットケア外来と皮膚科フットケア外来があり、内科フットケア外来は当院糖尿病・内分泌内科に通院している、足に傷がない方を対象としています。一方、皮膚科フットケア外来は、糖尿病や虚血を背景とした足病変（主に皮膚潰瘍）を持つ方を対象としており、潰瘍や白癬などの診察を医師が行い、爪切りや胼胝削り、セルフケア指導を専門の看護師が行っています。『足潰瘍の悪化により足切断に至る症例を減らしたい』という目標をもって2023年に開設した外来であり、当外来に通院中の方はセルフケアへの意識が向上し、潰瘍治癒後も再燃する方が減っています。現在、金曜日午後2枠(1枠30分程度)で外来をしています。

専門外来、フットケア外来をご希望の場合は、まず皮膚科での診療が必要なため、FAX 予約をお願いいたします。

皮膚や爪、髪症状でお困りの方がいらっしゃれば、ぜひご紹介いただきますようお願いいたします。

医療安全への取り組み

医療安全管理室

【はじめに】

医療における安全の確保は、治療を提供する私たちにとって最も重要な使命です。患者・家族の皆様安心して治療を受けていただけるように、当院では医療安全を基本理念に掲げ、病院全体で医療の質の向上と安全体制の強化に取り組んでいます。

【インシデント報告の現状】

当院では、安全文化の醸成を目的に、日々の気づきや「ヒヤリとした」「ハットした」事例を含め、積極的なインシデント報告を推進しています。医療安全の分野では、病床数に対して一定数以上のインシデント報告があることが、組織の安全意識の高さを示す指標の一つとされています。特に、患者さまに影響のない事象レベル0（ヒヤリ・ハット）や1の報告を数多く集めることが、重大事故の未然防止につながります。

当院の報告状況は年間で約1,300～1,500件で、そのうち200～350件が転倒・転落に関するものです。（図1）高齢化や認知症患者の増加により、入院中の転倒・転落を完全にゼロにすることは難しい状況です。職種別では、看護師864件（76%）と最も多く、24時間患者に寄り添い、診療の補助やケアを行う中で、インシデントに遭遇する機会が多いことが背景にあります。次いで医師90件（8%）、医療事務委託職員78件（7%）、薬剤師40件（4%）です。（図2）その他、放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、管理栄養士など多職種が報告に参加しています。今後も事象レベル0（33%）、レベル1（55%）の報告割合をさらに高めることが重要です。

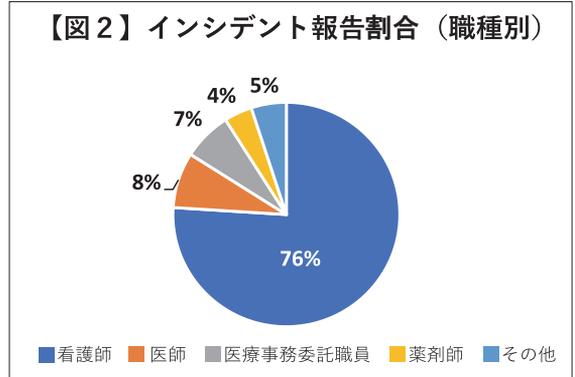
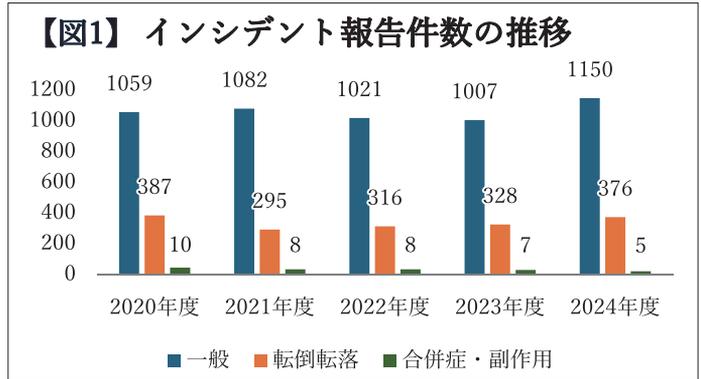
【取り組み】

提出されたインシデントレポートはすべて医療安全室長と専従看護師が確認し、重大事故には至らなかったものの改善の余地がある事例を中心に、週1回の医療安全室会議で検討しています。また、月1回の医療安全管理委員会では、多職種が集まり、事例共有や改善策の協議、決定事項の周知を行っています。院外の活動としては、地域の近隣病院と連携し、互いの病院を訪問して相互監査を毎年実施しています。現在は、中央市民病院・荻原記念病院・神戸アイセンター病院の3施設と連携しており、外部の客観的な視点から評価を受ける貴重な機会となっています。他院の優れた取り組みを学ぶことで、当院の安全管理体制のさらなる強化にもつながっています。今年度は既読管理システムを一部改修し、画像診断の見落とし防止策を強化しました。重要所見についてはシステムでの確認に加え、専任管理者が未対応案件を抽出し督促するダブルチェック体制を導入し、診断後の適切な治療介入を徹底しています。

【今後の課題】

図1で示したように、転倒・転落件数の低減は引き続き大きな課題です。当院では、患者の尊厳を守る観点から、可能な限り身体拘束を行わない方針を基本としています。来年度の診療報酬改定では身体拘束に関する基準がさらに厳格化される見込みであり、より丁寧で慎重な対応が求められています。一方で、高齢化や認知症の増加に伴い、転倒・転落リスクは今後も高まると考えられます。地域の皆さまにも、日常の中でできるフレイル予防や認知症への理解を深めていただくことが、転倒予防につながります。

当院は、これからも地域とともに医療安全の向上に努め、「治し支える医療」を実践し続けてまいります。



令和7年度看看連携研修報告

地域医療在宅支援室

本年度の兵庫県看護協会主催『看看連携研修』には、院外1名・院内10名の11名が当院・訪問看護ステーション3か所・緩和ケア病棟1か所に1～2日かけて参加しました。

研修実施期間：2025年9月～12月

外来看護師2名・地域連携看護師1名→もみじ訪問看護ステーションへ
病棟看護師2名・地域連携室看護師1名→MEIN HAUS 訪問看護ステーションへ
病棟看護師2名・地域連携室看護師1名→訪問看護ステーション CONNECT へ
病棟看護師2名→ JCHO 神戸中央病院 緩和ケア病棟
訪問看護・リハビリステーションわたぼうし→当院地域連携室

研修報告会：2025年12月17日 15：00～17：00

場 所：当院北館3階講義室（ZOOM 併用）

参 加 者：研修参加者11名と参加者の部署の師長やステーション管理者を含め20名



【参加者からの学びや意見の一部を紹介】

- ・情報システムを活用し、タイムリーに情報共有が行われていることがわかった。
- ・患者がその人らしく在宅・地域で過ごせるような支援のあり方を学んだ。患者が「どうありたいか」「何を大切にするのか」を常に考え、支援をしていきたい。
- ・外来患者さんが「入院せずに自宅で過ごしたい」との思いを話された場合は、そう思う理由、今どんな生活をしているのか？家族は？サービスは？など聴取しながら患者さんの思いに寄り添った支援を行いたい。
- ・主治医にも治療方針やサービス利用に対する意向を確認しながら積極的に地在や訪看と連携していきたい。
- ・終末期患者とその家族は日々病状が進行していく中で不安や苦痛を感じている。そのような中で少しでも安心して過ごすことができるようコミュニケーションを取りながら必要な援助を考えていきたい。
- ・その人にとって訪問看護導入の目的を明確に示していきたい。

研修でお世話になりました訪問看護ステーションの皆さま・病院担当者の皆様この場をおかりして、お忙しい中ご指導いただき心より感謝申し上げます。

令和7年度 第3回在宅療養カンファレンス開催報告

地域医療在宅支援室

テーマ：未成年の子どもを持つ症状コントロール困難ながん末期患者の療養支援

～一日でも早く帰りたいという焦りにどう関わればいいのか？～

日 時：令和8年1月15日（木）17時00分～18時30分

場 所：当院北館3階講義室（現地開催）

参加者：27名（院外9名、院内18名）

A氏は未成年の子どもと2人暮らしで早期退院を希望していましたが、症状コントロールに難渋したため、退院するタイミングに悩んだ終末期の事例です。

自宅退院に向けて患者家族に必要な支援について、グループにわかれて意見交換しました。「A氏のやりたいことを尊重しながら関わる」「子どもには学校などで会えないこともあるので、SNSを利用しながら思いや今後の生活について相談に乗っている」など、A氏だけでなく子どもに対しても、思いを十分に聴いていくことが必要だったと気づきました。

アンケートの結果からは、「社会資源へのアプローチや子どもさんへの関りで、できていなかったことと、しないといけなかったことが明確になった」「初めて知る支援方法やアプローチの話しがきけた」などの意見がありました。



第2回西市民連携セミナー開催報告

令和8年2月19日（木）に第2回西市民地域連携セミナーを開催しました。オンライン形式で開催し、約40名の方にご参加いただきました。今回は、当院の消化器内科及び消化器外科の医師が当院の肝胆膵治療について講演を行いました。

開催内容：①胆膵領域の診断・治療の最前線について

消化器内科 医長 吉田 裕幸

②肝切除の最前線について

消化器外科 医長 細川 慎一

※座長：総合内科 部長 西尾 智尋



開催後のアンケートでは、以下のようなご意見をいただきました。

- ・西市民病院の肝胆膵領域の医療レベルの高さが認識できました。機会があれば紹介させていただきたいと思います。
- ・内視鏡治療の機械や技術が進歩していました。先生方の説明もわかりやすく参加してよかったです。ロボット手術中の映像を見ながらの解説は、臓器の境界がよくわかりました。

ご参加いただいた皆様ありがとうございました。来年度におきましても、当院の診療科のトピックス等について講演会を開催予定ですので、ご参加いただきますようお願いいたします。

当院へのご意見フォーム（医療関係者用）の開設について



当院では、地域連携の強化とサービス向上のため、医療関係者の皆様を対象としたアンケートフォームを開設しました。

お手数ですが、QRコードよりご意見をお寄せいただけますと幸いです。いただいたご意見は、今後の運営改善の貴重な資料とさせていただきます。

※全てのご意見にお返事を差し上げることはいたしかねますので、

あらかじめご了承ください。皆様のご協力をお願い申し上げます。



医師の転出・転入等のお知らせ

【転出等 2月28日付】

所	属	補	職	氏名
消化器内科		専攻	医	三好 健太

【転入等 3月1日付】

所	属	補	職	氏名
消化器内科		専攻	医	前田 拓海

診療予定表

令和8年3月1日～

TEL 078(576)5251

受付:午前8時45分～11時45分 (午後は原則として予約診察のみ/土・日・祝・年末年始は休診)

★印は、女性医師

診療科/診療室	月		火		水		木		金		備考			
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後				
内科	呼吸器内科	2診	富岡	—	富岡	富岡	網本	網本	横田	横田	—	堀	火) 午後 富岡医師(専門外来 間質性肺炎) 気管支鏡) 火 午前、金 午前(予約制) 禁煙外来) 水 午後4診	
		4診	—	—	—	—	—	禁煙外来 富岡	—	—	—	—		
		9診	★山田(夕)	★山田(夕)	—	—	金子	金子	瀧口(純)	瀧口(純)	金子	—		—
		11診	李	李	藤井	藤井	—	—	—	—	—	—		—
	消化器内科	3診	清水	清水	★高田	★高田	吉田	吉田	清水	清水	山田(聡)	山田(聡)	—	
		7診	前田	前田	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		8診	—	—	田中	田中	—	—	—	—	—	—	—	
		10診	今村	今村	平川	平川	星	星	中村(真)	中村(真)	★細見	★細見	—	
	循環器内科	2診	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	デバイス外来	
		4診	平沼	—	平沼	—	吉野(智)	—	藤岡	—	永野	—	※第2木 午前 不眠外来(11:00受付終了)	
		8診	—	—	—	—	—	—	※第2週 小堀	—	—	—	—	
	糖尿病・内分泌内科	1診	—	—	—	★深澤	—	★深澤	—	—	—	高山	※1) 1・3・5週 ★深澤医師 2・4週 高山医師 ※2) 第2金 午後 中村医師の診察は 糖尿病教室開催のため休診となります	
		4診	—	藤田	—	—	—	—	★武部	—	—	—		
		5診	中村(武)	中村(武)	倉本	倉本	★武部	★武部	※1 深澤 高山	中村(武)	中村(武)	中村(武)		
		8診	—	倉本	—	—	—	—	—	—	—	—		
リウマチ膠原病科	4診	—	壺井/小川	—	壺井	—	—	—	—	—	—	9時枠の紹介・初診の診察は不可		
	8診	—	—	—	—	—	—	—	田村/壺井	—	—			
	11診	—	—	—	—	—	—	—	—	壺井	壺井			
血液内科	12診	—	—	★坂井	—	—	—	—	—	—	—	—		
	4診	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	7診	—	—	安積	安積	坂口	坂口	渡邊(周)	渡邊(周)	西庵	西庵	—		
腎臓内科	12診	★瀧口(製)	★瀧口(製)	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	4診	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	7診	—	—	安積	安積	坂口	坂口	渡邊(周)	渡邊(周)	西庵	西庵	—		
脳神経内科	6診	菅生	菅生	—	—	—	—	菅生	菅生	—	—	—		
	1診	★西尾	—	★多山	—	濱崎	—	越智	—	★西尾	—	—		
総合内科	8診	王	—	—	—	★永田	—	—	—	濱崎	—	一般内科・健康診断は総合内科が担当 健康診断) 予約制3名 月・火・水・金		
	9診	—	—	★西尾	★西尾	—	—	—	—	—	—			
	11診	—	—	—	—	—	—	王	—	—	—			
放射線外来	内科 11診	—	—	—	—	—	—	—	馬屋原	—	—	【予約制】		
	内科 6診	—	—	足立	足立	—	—	—	—	—	—	—		
脳神経外科	内科 8診	—	—	—	—	—	—	足立 ※	—	—	—	※第1・3・4・5週		
	内科 8診	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
小児科	1診	★小柴	乳児健診 14:00～15:30	★高畑	—	★小柴	★小柴	江口	小児神経外来 相馬	江口	—	乳児健診 14:00～15:30	小児神経外来) 木 午後 小児循環器外来) 第1・3・4 金の午後初診はFAX予約必要 シナジス外来は完全予約制です 詳しくはホームページをご覧ください	
	2診	★高畑	—	江口	江口	藤田	岡藤	藤田	—	★高畑	—	—		
	3診	浪方	藤田	—	★小柴	—	★高畑	—	★吉野(用) (アレルギーク ス、シナジス)	—	—	—		
	1診	西田	西田 (手術)	西田	西田 (手術)	インプラント 外来手術	西田 (手術)	西田	西田 (手術)	西田	西田 (手術)	西田 (手術)		—
	2診	★向仲	★向仲 (手術)	★向仲	★向仲 (手術)	★向仲	★向仲 (手術)	★向仲	★向仲 (手術)	★向仲	★向仲	★向仲 (手術)		—
	3診	★大澤	★大澤	★大澤	★大澤 (手術)	★大澤	★大澤	★大澤	★大澤	★大澤	★大澤	★大澤		—
消化器外科	1診	★中嶋	—	鈴木	鈴木	細川	—	—	—	—	口分田	—		
	2診	大村	—	—	—	牛窪	—	村上	村上	高島	—	—		
	3診	—	—	—	—	—	—	村上	★賢子丸	—	—	—		
呼吸器外科	1診	—	—	—	—	—	—	—	大越	—	—	—		
	2診	—	—	竹尾	竹尾	—	—	—	—	—	—	—		
	整形 3診	—	—	平野	—	—	—	—	—	—	—	—		
乳腺外科	2診	—	★大久保	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	3診	三瀬	三瀬	—	矢田	★大久保	—	—	三瀬	三瀬	三瀬	—		
	3診	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
整形外科	1診	※西口	西口	小田	小田	藤原	藤原	※山根 (脊椎)	—	布施 (関節外来)	布施	—		
	2診	山根	山根	藤原	藤原	西口	西口	橋村	橋村	小田	小田	—		
	3診	※橋村	橋村	—	—	布施	布施	※中林	中林	十川	十川	—		
眼科	1診	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	2診	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
産婦人科	1診	市田	市田	医師交替制 (紹介予約)	—	施	施 (妊婦検診)	医師交替制 (紹介予約)	—	★杉野	★杉野	—		
	2診	★杉野	★前田	新谷	—	★前田	新谷	—	—	施	★前田 (妊婦検診)	—		
	3診	検診ワクチン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	5階 病棟	—	—	※助産師外来	※助産師外来	—	—	—	—	※産後外来	※助産師外来	※助産師外来	—	
泌尿器科	1診	中村(一)	医師交替制	吉井	吉井	吉井	—	神野	神野	神野	神野	—		
	2診	村田	—	佐伯	佐伯	★西岡	—	村田	村田	佐伯	—	—		
	3診	—	—	★西岡	—	—	—	吉井	—	—	—	—		
耳鼻咽喉科	1診	木戸上 (予約検査)	—	後藤 (検査・手術)	—	—	—	—	—	—	—	—		
	2診	※後藤	—	※木戸上	—	—	—	—	—	—	—	—		
認知症疾患 医療センター	1診	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	2診	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
精神・神経科	1診	—	—	大塚	—	竹村	—	—	—	—	—	—		
	3診	(心理判定)	—	—	—	(心理判定)	—	(心理判定)	(心理判定)	—	—	—		
遺伝カウンセ リング外来	1診	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	2診	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
皮膚科	1診	★谷川	—	★谷川	—	★谷川	—	★谷川	—	兼本	—	—		
	2診	近藤	専門外来	兼本	(手術)	近藤	専門外来	兼本	(手術)	近藤	専門外来	—		